

西本委員（民主県政会）

令和5年3月1日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）産業教育の充実について

産業教育推進事業の中で、産業界で必要な資質・能力の育成を図るためのカリキュラム開発などに新たに取り組むこととしているが、このカリキュラムの開発とは具体的にどのようなことに取り組むのか、また、産業教育を令和5年度以降どのように広げていくのか、併せて教育長に伺う。

（答）

今後の本県産業教育の充実に向けましては、VUCAと言われる、先行きが不安定で、不確実で、複雑かつ曖昧な時代にあって、様々な職種の方々と協働を通して、新たな価値を創造できる職業人の育成に取り組んでまいりたいと考えております。

このため、来年度は、社会の急激な変化に柔軟に対応できる教育課程の編成を目指して、「学科の枠を超えたカリキュラム」を開発するとともに、コーディネーターを配置して、高等学校と地域の企業や経済団体との連携・協働体制の構築を推進してまいります。

この学科の枠を超えたカリキュラムにつきましては、例えば、令和3年度から商業高校におきまして、起業家精神の育成を図るための学習プログラムを先行的に導入し、生徒が、自ら取り組む課題を見出し、要因などの分析を経て、解決案を模索し、完成させたビジネスモデルを発表するコンテストを実施しており、本年度は、商業科以外の学科からの参加者も交えて開催することとしております。

令和5年度以降は、こうした場への参加を通じて、自らの専門分野以外の他の学科にも視野を広げた生徒が、他の学科とチームを組み、協働して探究的な学習活動に取り組むカリキュラムの開発を目指してまいります。